IWANUMA で暮らし続けるための
生きがい支えあい情報誌

２０２５年１１月発行
６号

ず～っと岩沼

Ｐ１…地域の皆さんのいきいき写真
Ｐ２…活動ピックアップ
Ｐ３・Ｐ４…多様な主体とともに取り組む地域の居場所づくり
Ｐ５…支え合いの輪を広げるために
Ｐ６…ボランティアさん紹介・地域お役立ち情報
Ｐ７…生活支援体制整備事業紹介

↑小川憩いの会　外出行事の様子
～アイバスでお出かけ　ひつじ村～
…P2 に関連記事が掲載されています

「ず～っと岩沼」バックナンバーはこちらからご覧ください→
（岩沼市社会福祉協議会 HP 上で公開しています。二次元コードを読み取ってください）

「ず～っと岩沼」は

生活支援体制整備事業の一環として、高齢者の生活を支える地域の取り組みをお伝えする情報誌です

　誰もがいくつになっても住み慣れた地域で暮らし続けるため、地域における様々な活動が注目されています。
　通いの場となるサロン等の活動や地域の見守り活動は、介護保険制度等の公的サービスとともに高齢者の生活を支える大切な活動となっています。
　今号は、様々な主体とともに取り組んでいる地域の居場所づくりについて特集しています。

地域の皆さんのいきいき写真

↑さくらとあいの会　腹話術で防犯の講話

↑かがやきサロン
コミュニケーション麻雀で交流

↑コーラスいきいき
「お稲荷さんの音楽フェスティバル」in 竹駒神社

↑サロンえがお　陶芸体験

活動ピックアップ！

小川憩いの会～バスでお出かけ～

小川憩いの会は、令和3年に小川町内の有志を中心に立ち上がったサロンです。

地域の憩いの場として、小川公会堂を会場に、講話や音楽鑑賞等、毎月運営陣が工夫を凝らした内容で開催しています。

10月は、免許を返納した時に備えるため「公共交通機関を使っての移動」をテーマに～アイバスでお出かけ　ひつじ村～という企画を実施しました。

小川地区はデマンドタクシーエリアです。

デマンドタクシーを利用してサロンのメンバーでの外出は挑戦済みでしたが、今回利用するのは岩沼市民バス。バス停近くの商業施設の駐車場に集合したあと、皆でバスに乗ってひつじ村まで出発となりました。

「サロンのメンバーは仲が良いので、バスの中でもついついおしゃべりが盛り上がってしまいました。これからのことを考えると、公共交通機関を使う方法を学ぶのは大切なこと。今後もこういった機会を設けて、みんなで、将来に備えたいと思います。」
（サロンメンバー　大久保さん）

岩沼市の公共交通機関まめ知識

・**岩沼市民バス**…コミュニティバス

・**岩沼デマンドタクシー**…ワゴン車両（乗客定員9人のジャンボタクシー）による乗合タクシーで、バスとタクシーの中間的な乗り物です。乗降場所が決められていて、途中下車や寄り道はできません。

・**岩沼 AI 乗合バス**…ルートや時刻表は存在せず、利用者の予約状況を基に AI が最適な道順を割り出し、他の利用者と乗り合いながら目的地に向かう小型バスです。

生活支援体制整備事業の周知活動

生活支援体制整備事業の周知活動の一環として、シルバー人材センターを会場に行われた、ケアサポートセミナーで講話を実施しました。今後、生活支援の担い手として活躍される方々に向けて、高齢者を支える制度とともに、社会参加の大切さを交えながら、岩沼市の高齢者の活動の現状をお伝えしました。

～生活支援体制整備事業の周知のために～
企業・病院・団体等に向けて出張講話いたします！
お気軽にお問い合わせください。
問い合わせ先：岩沼市社会福祉協議会
0223-29-3711

多様な主体とともに取り組む地域の居場所づくり

団体・企業・商店…地域には多様な主体があります。それぞれの思いを地域の居場所づくりの活動へとつなげた事例をご紹介いたします。

志賀　お茶会×布田フーズ

6月22日に志賀地区集会所で、お茶会が開かれました。このお茶会は、地域につどいの場を作りたいという思いから開催されました。

志賀地区は自然豊かで、地域のつながりが深い地域です。一方、商店が近くになく、買い物には車が不可欠で、車の運転ができない高齢者には買い物が大変…という悩みを抱える地域でもあります。

「地域のつどいの場として、お茶会をするならば、買い物をする楽しみもあったらよいのではないか」お茶会の中心となった、同地区担当民生委員の佐藤さんの声により、お茶会に移動販売の業者さんを呼ぶことになりました。

第1層生活支援コーディネーターも移動販売の情報提供、調整のお手伝いをしました。

今回は日曜日に開催ということもあり、普段から地域の催し物等に出店しており、地域に根付いた活動をされている布田フーズさんにお声がけすると、

「いつもイベントには出店しているけど、こういった地域の集会所に出向くのは初めて…」

布田フーズさんとしても初めての試みながらも快諾いただきました。

お茶会当日は晴天の中、10名を超える参加者が集まりました。

布田フーズさんのお店は、市内の中心部にあるため、お店を訪れたことのない参加者の方がほとんど。豆腐やおからサラダ、豆乳ソフトが並び「おいしそうだね」と、参加者の方は地元産の商品を嬉しそうに購入されていました。

買い物を楽しむ、それがおいしいものならなおさら楽しい！そういった相乗効果が生まれている様子が見られました。

移動販売で買い物をするために人が集まる。人が集まって交流が生まれる。交流が生まれることで元気に生活できる。

買い物から生まれるパワーを感じたお茶会となりました。

店舗情報

手造りとうふ布田フーズ　…岩沼市中央3－4－23　TEL 090-9747-0222

「地域の集まりには今後も声をかけていただければ、出向きたいと考えています」

サロン結 in カフェDaoTao

岩沼駅西口から程近くにある、落ちついた色合いのカフェ「カフェDaoTao」。

カフェの店休日を利用した地域のつどいの場が「サロン結」です。

株式会社結（以下、結）で運営していたデイサービスばあちゃん学校が閉鎖となった際に、ばあちゃん学校でのあたたかなつながりを続けていきたいとデイサービスを実施していた場所をそのまま使用してサロンを行うことになったのが始まりです。

今年度事業所が移転することになり、結とDaoTao、両方につながりがあるスタッフさんが、サロンの「地域で楽しく集まれる場所を作りたい」という思いと、DaoTao3代目店主である大塚夫妻の「地域で気軽に寄れる場所を作りたい」という思いをつなぎあわせました。

毎週水曜日、9時30分から14時30分までがサロンの時間です。

サロンでは、昼食付か昼食なしか参加形態が選択できます。昼食はカフェの厨房を利用し、カフェスタッフ特製のメニューとなっています。

「ここに来ることは大きな喜びです」

「毎回来て笑わない日はないです」

参加することが楽しいから、リハビリ代わりに、閉じこもり予防に、参加の理由は様々ですが、参加者の皆さんが楽しい時間を共有できている、というのは共通の様子でした。

おしゃべりや健康づくりに頭の体操、趣向を凝らした手作業…それぞれが笑顔で過ごせる時間が、サロン結には流れています。

店舗情報

カフェDaoTao…岩沼市土ケ崎2丁目9－2　TEL　080-3324-3242

カフェDaoTao では、毎月第3土曜日に、地域のだれでも参加できる居場所として、ワークショップを開催しています。年代、障害の有無を問わず様々な方が参加している場所です。

支え合いの輪を広げるために

↓モルック初体験の様子。
第2層生活支援コーディネーターが活動の後方支援をしています。

「互助」とは、人と人が互いに助け合い、支え合うことを意味する言葉です。

地域住民の「互助」による助け合い活動の推進が、高齢者の生活を地域全体で支えていく体制づくりに求められています。

昨年度、南東北地域包括支援センターが、岩沼南小学校学区の民生委員・区長・町内会長懇談会を実施し、その中で「地域の互助力の大切さ」についての研修会・意見交換が行われました。

懇談会に参加したことで互助力を高めること…支え合い、つながりづくりの大切さを学び、自分の地区でも実践したい！という思いで、桑原第一の行政区長である長谷さんが立ち上げたのが「おですこサロン」です。

子ども会、老人クラブ、青年会等がなくなり、町内会活動が活発でない中、できる範囲の活動で…と活動がスタートしました。

おですこサロンでは、参加者間で「気にかけあう関係」を築くことを大切にしています。

参加すれば、元気だな、と様子がわかる。お休みをしている人は、どうしてるのかな？と様子が心配になる。集まる場があることで、お互いに気にかけあうことができる。

つどいの場、サロンが地域の互助力を高めていくためのツールになっているということが、おですこサロンの様子からも伺うことができます。

「一人暮らしの方や、地域には気になる高齢者がいるので、そういう方とつながるためにも、サロンを開いています。一人でも多く参加してもらって、地域で何かあったら助け合える関係を築いていきたいです。」

（おですこサロン代表・桑原第一区長　長谷さん）

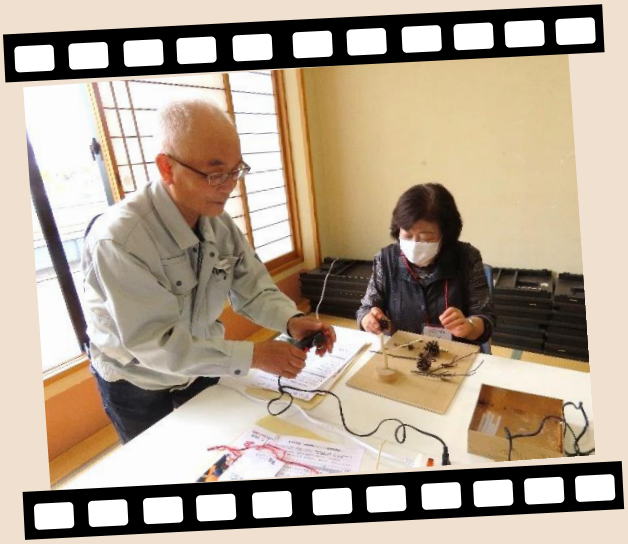
ニュース！

お買い物の選択肢が増えました！

↑岩沼西部地区コミュニティ運動会での販売の様子

岩沼市内西部全域、南部の一部にも移動スーパーとくし丸が走ることになりました。品物はイトーチェーン（マルコ店）で販売されている、生鮮食品、お惣菜、日用品等様々なものです。エリアは限定されますが、買い物が困難な方にとって、目で見て商品を選ぶことができる選択肢が1つ増えました。

ボランティア活躍日記



島貫房雄さんは自然の材料を使った工作の指導が得意なボランティアさんです。

今年度は、松ぼっくりフクロウ作りをサロンラボ（社協事業）や、地域のつどいの場等で教えてくださっています。自然の材料を使っているので、既製品にはないあたたかみがでるのが作品の特徴です。

よく飛ぶ竹トンボやウグイス笛など、世代間交流に役立つ、懐かしの遊び道具作りも得意な島貫さん。

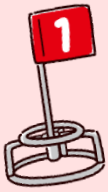
今後も、様々なつどいの場で活躍が期待されます。

つどいに使えるヒント集

オリジナルビンゴ　（岩沼市デイサービスセンターさとのもり監修）

《準備品》①5x5 マス（3×3）を書いたカード（紙）、②テーマに沿った言葉を書く紙、ペン
《やり方》
1、2～3人のチームに分かれます
2、参加者の方一人ずつに、テーマに合った言葉を聞いていき、②の紙に書き込んでいきます
（例、秋の食べ物 「さんま」「柿」「はらこめし」などなど…）
　5×5マスだと25個以上、3×3マスだと9個以上言葉を出すのがよいです
3、チームごとに、好きな言葉を①の紙に書きだします
4、②の紙を切り取ってくじ引きを作ります
5、くじ引きを引いて、出てきた言葉に〇をします
6、タテ・ヨコ・ナナメのいずれか一列に〇がそろったらビンゴです！

地域でお役立ち☆
つながり広げる場所・もの　コレクション



「グラウンドゴルフ」

グラウンドゴルフは、専用のクラブ、ボール、ホールポスト、スタートマットを使用して、ゴルフのようにボールをクラブで打ち、ホールポストにホールインするまでの打数を競うスポーツです。

場所によって距離やホールポストの数を自由に設定でき、ルールも簡単なため、どこでも、だれでも手軽に楽しむことができます。

岩沼市老人クラブ連合会貸出遊具の一つになっています。

サロン等のレクリエーションにぜひご活用ください！

問い合わせ先：岩沼市老人クラブ連合会
（岩沼市社会福祉協議会内）0223-29-3711

生活支援体制整備事業とは？

生活支援コーディネーターの配置と、協議体の開催を通して
①　②
高齢者が暮らしやすい地域をみんなで考えてつくっていくこと

① 生活支援コーディネーターとは　＝　支え合いの輪をつくるつなぎ役

「高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために」地域で生きがいや役割を持ち自分らしい生活を送ることができるようにお手伝いするのが生活支援コーディネーターです。

② 協議体とは　＝　支え合いの輪をつくる話し合いの場

地域住民、町内会、民生委員・児童委員、民間企業、行政、地域包括支援センター、社会福祉協議会など様々な役割の人が集まり、高齢者が生活を送る上で地域の気になる事や課題解決にむけた話し合いを行います。

第1層　協議体
支えiの地域づくり会議を実施し、地域包括支援センター、市内のケアマネジャーの社会資源活用のためのツール（専門職向け）を作成しました！

第1層生活支援コーディネーター　（社会福祉法人　岩沼市社会福祉協議会）
〒989-2427　岩沼市里の杜三丁目4番15号　TEL　０２２３－２９－３７１１　/　FAX　０２２３－２９－３３４１

第2層生活支援コーディネーター（各小学校区ごとに設置された包括支援センターに配置）

岩沼西小学校区
岩沼西地域包括支援センター
業務委託　社会福祉法人　敬長福祉会
〒989-5459　岩沼市たけくま三丁目6番8号
TEL　0223-36-7266　/　FAX　0223-23-3577

岩沼小学校区
岩沼市社会福祉協議会地域包括支援センター
業務委託　社会福祉法人　岩沼市社会福祉協議会
〒989-2432　岩沼市中央一丁目４番27号
TEL　0223-25-6834　/　FAX　0223-25-4332

岩沼南小学校区
南東北地域包括支援センター
業務委託　社会医療法人　将道会
〒989-2427　岩沼市里の杜一丁目２番6号
TEL　0223-23-7543　/　FAX　0223-23-5665

玉浦小学校区
マリンホーム地域包括支援センター
業務委託　社会福祉法人　ライフケア赤井江
〒989-2429　岩沼市恵み野一丁目7番地の1
TEL　0223-25-6656　/　FAX　0223-22-1271

【ず～っと岩沼　編集・発行】社会福祉法人　岩沼市社会福祉協議会
（担当）第一層生活支援コーディネーター
【取材協力】岩沼市内地域包括支援センター
（担当）第二層生活支援コーディネーター